

ライブラリアンが見た 「博物館情報・メディア論」

国際日本文化研究センター図書館
司書
江上敏哲

自己紹介

(=どの立場から参加するか)

- 図書館の司書
国際日本文化研究センター
(大学共同利用機関)
- 海外への研究支援
海外における日本研究
資料提供・研究支援のための情報発信
- 司書科目の講師
「図書館情報資源論」等
(同志社大学・立命館大学)

発話一覧

- 苦言 1点
- もうひとつの「博物館概論」
- L(図書館)の住人こそ読むべき
- “現在”の重要さと、賞味期限
- “分散と集中”
「図書館情報技術論」との比較
- 「教科書」なのか？
「教科書」とは何か？

苦言 1点

●文字が小さい

→伝えるべきコンテンツと、
メディアの物理的制約・克服について

もうひとつの「博物館概論」

- 「博物館学」や「博物館」自体を、
「情報」「メディア」という横串で
再定義・再枠組みしたもの

→これを読んでから博物館学を学ぶか、
全体を学んでからこれを読むか
→これは「いいこと」なのか？問題

L(図書館)の住人こそ読むべき

- 「博物館学」や「博物館」自体を、
「情報」「メディア」という横串で
再定義・再枠組みしたもの

→(L側にとっては)
情報・メディアという「同じ横串」を
「他の業界」で実践してくれた
“新鮮な”事例集

“現在”の重要さと、賞味期限

0章～2章：総論的な章

- 徹底的に”現在”を解説する
(距離を置いた”過去”の叙述ではない)
(未来に必要な、”現在”の洗い出し)

→じきに更新する予定？

“分散と集中”

「図書館情報技術論」との比較

3章、4章、5章・・・：各論&豊富な事例

→「他の各科目で

DX・情報化をしっかりと取り上げていたら、
ここで言わなくてよかったのでは？」

→「いや、こっちのほうが効果的では？」

司書資格科目

(必修)

- | | |
|-------------------|-------------|
| ● 生涯学習概論 | ● 図書館情報資源概論 |
| ● 図書館概論 | ● 情報資源組織論 |
| ● 図書館情報技術論 | ● 情報資源組織演習 |
| ● 図書館制度・経営論 | (選択) |
| ● 図書館サービス概論 | ● 図書・図書館史 |
| ● 情報サービス論 | ● 図書館施設論 |
| ● 情報サービス演習 | ● 図書館総合演習 |
| ● 児童サービス論 | ● 図書館実習 |
| | ● 図書館基礎特論 |
| | ● 図書館サービス特論 |
| | ● 図書館情報資源特論 |

「図書館情報技術論」

- 「図書館業務に必要な基礎的な情報技術を修得するために、コンピュータ等の基礎、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子資料、コンピュータシステム等について解説し、必要に応じて演習を行う」

(「司書資格取得のために大学において履修すべき図書館に関する科目一覧」(図書館法施行規則の一部を改正する省令及び博物館法施行規則の一部を改正する省令(平成21年4月) 別添2))

「図書館情報技術論」

- 1) コンピュータとネットワークの基礎
- 2) 情報技術と社会
- 3) 図書館における情報技術活用の現状
- 4) 図書館業務システムの仕組み(ホームページによる情報の発信を含む)
- 5) データベースの仕組み
- 6) 検索エンジンの仕組み
- 7) 電子資料の管理技術
- 8) コンピュータシステムの管理(ネットワークセキュリティ、ソフトウェア及びデータ管理を含む)
- 9) デジタルアーカイブ
- 10) 最新の情報技術と図書館

「博物館情報・メディア論」

- 「博物館における情報の意義と活用方法及び情報発信の課題等について理解し、博物館の情報の提供と活用等に関する基礎的能力を養う。」

(文化審議会第5期博物館部会「大学における学芸員養成課程の科目のねらいと内容について」令和6年3月25日))

「博物館情報・メディア論」

- 博物館における情報・メディアの意義
情報の意義 / メディアとしての博物館
ICT社会の中の博物館 / 情報教育の意義と重要性
- 博物館情報・メディアの理論
博物館活動の情報化
資料のドキュメンテーションとデータベース化
デジタル・アーカイブの意義・方法・課題
映像理論、博物館メディアの役割と学習活用
- 博物館における情報発信
情報管理と情報公開 / 情報機器の活用
インターネットの活用
- 博物館に関する法と権利
知的財産権(著作権等) / 所有権
個人情報(肖像権等) / 権利処理の方法

「教科書」なのか？

「教科書」とは何か？

- 理論的な柱が明確
構成や見出しが抽象度高め？
 - 既にわかってる人には、わかる
これからわかろうとする人には厳しい？
 - 「教科書」より、
「教師用指導書」に吉？
- 「教科書」の機能とは？
 - 自習教材（読めば知識が獲得できる？）
 - 地図（分野の全体像を把握できる？）
 - 辞書（わからないところをひきにくる？）